

平成27年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



《漂渺夢幻》
 1995年制作
 第80回二科展

まずは、勇氣を持って作品を紐解く。
 何の武器も持たずに。

お客様に話しかけられると、「美術は自分によくわからないんだけど」という前置きをよく耳にする。それはおそらく、「何が書いてあるかわからない」もしくは「美術史的知識に乏しい」という意味なのだとは私は理解している。そこで私は声を大にして言いたい。そんなときこそ、「美術がよくわかる」最適な状態なのだ。

画家は絵画というモノをわざわざつくって伝えている。写真を写すのではなく、作文を書くのでもなく。例えばもし、その作品が、みなさんが心配するように、美術史の予習が無くては鑑賞できないモノのであれば、作家は作品の隣に美術史の教科書を置くべきであろう。でも、そんな作品は見たことがない。

鑑賞における怠惰とは、知識を有しないことではない。「思い込み」に支配された目でみることである。むしろ人間の目は「こう」と思ったらすうとしか見えなくなる機能を備えているのだから、へんな知識は有しない方がいい。まささらな、曇り無き眼でみて、自信マンマンに語っていただきたい。そのときのポイントは、必ず「自分はこうしてそう思ったのか」を絵画の中から探すことである。その中でわき起こる疑問にもし、知識が必要であれば、あとで調べてみればよい。さて、本作は鷹山宇一が晩年、遊蝶花シリーズと作風を一変させた契機のある作品である。一変したことがすごいのではない。一変させなくてはならないほど、表現したいことがあったのだ。それまで控えめだったブルーは氾濫して画面を覆い、たゆたう球体には少女にも見える横顔が浮かび上がる。知識という武器を持たずに作品を紐解くと、とてももしろい体験が得られる鷹山作品のひとつであるだろう。

(学芸員 清水輝大)

鷹山宇一記念美術館友の会

平成27年度通常総会開催

- ★20周年記念事業概要
報告
- ① 鷹山宇一 絵画購入資金の寄付(平成23年度実施)
 - ② 鷹山宇一 画集購入・会員に無償配布
 - ③ 会報20周年記念特別号の発行
 - ④ 会報合本の制作・発行
 - ⑤ 美術図書 の贈呈
 - ⑥ 国内特別美術研修旅行・出張大社・足立美術館等山陰美術紀行(平成25年)



通常総会議案審議風景

鷹山宇一記念美術館友の会平成27年度通常総会が6月13日午後2時から開催され、平成26年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)等全ての承認議案が原案の通り可決され、本年度の事業体制が整いました。

なお、通常総会議案書を別添の通り同封致します。本年度も友の会会員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎平成26年度「友の会20周年記念事業」実施概要及び27年度事業計画概要について左記の通り報告いたします。

- 度実施)
- ⑦ 第6回海外研修旅行「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行」(平成26年度実施)

★新年度事業計画概要
① 美術館企画展の監視ボランティア活動

平成27年度友の会総会記念講演
『県南コレクション展 第3期 特集 | 多田瓊林』展記念トークイベント

幻の画家・多田瓊林

講師 郷土史家 山崎栄作氏

- ② 国内研修旅行の実施
○「ゴーギャンとポン・タヴァンの画家たち展」岩手県立美術館
平成27年6月14日実施
- 「加賀会席と金沢21世紀美術館を訪ねて」(会報79号で募集)
平成27年11月17日～19日(予定)
- ③ 美術講演会
「幻の画家・多田瓊林」・郷土史家 山崎栄作氏
平成27年6月13日実施
- ④ その他・会報の発行等

友の会総会終了後に開催した平成27年度友の会総会記念講演(鷹山宇一記念美術館&友の会共催)は、十和田市在住の郷土史家・山崎栄作氏をお迎えして、「幻の画家・多田瓊林(ただけいりん)」と題する講演をしていただきました。

山崎氏は、瓊林が山形県出身で子供のころから絵を描くことが好きだったこと、明治から昭和にかけて活躍した日本画家・川合玉堂(かわいぎよくどう)の孫弟子にあたること、華道は池坊の免状を授かっていること、1938年第3回文部省美術展覧会で「水蓮」が入選(213人中の入選者14人)していること、

と、終戦後、妻の郷里・十和田市に移住し、晩年までの14年間、農作業のかたわら描いた多くの作品が没後50数年を経たいまでも実生活の場で大切にされながら残っていることなどを持参いただいた資料・写真、作品を鑑賞しながら瓊林の足跡を解説していただきました。

郷土で生まれ郷土で育った郷土史家・山崎栄作氏の先人達に対する敬意と熱い思いが伝わってきた講演会でした。感謝。



講演中の山崎栄作氏

お知らせ

鷹山宇一記念美術館次回特別展
県南コレクション展 第3期
特集 多田瓊林
平成27年7月11日(土)
～8月30日(日)

参考資料 多田瓊林作品集続等
(照井)



○平松礼二氏からのお手紙○

春の特別企画展『箱根芦ノ湖・成川美術館所蔵 平松礼二展』日本の美を求めて』の開催式典が4月18日に行われました。会場には成川美術館館主成川實様ご夫妻をはじめ、多くの皆様のご参加をいただきました。残念ながら平松礼二画伯はフランスにご滞在中のことでご参加は叶わず、お手紙を頂戴いたしましたので、ここでご紹介いたします。

『感謝を込めて』

このたび七戸町立鷹山宇一記念美術館、箱根芦ノ湖・成川美術館そして七戸町のかたがたのご好意により、私の個人展をご開催賜ることは大変名誉なことであり心より

感謝をいたしております。

ご存知のように箱根芦ノ湖・成川美術館は日本一高名な日本画専門の美術館です。館主の成川實さんと私はほぼ同世代であり私とは三十年を越える交流があり若き日から大作を中心にコレクションをしていただき私の作品では国内最大のコレクターです。鋭い審美眼は画家にとって憧れでもあり、恐れでもあります。幸運にも同じ時代の中で立場は違えど無限なる美の探求者として生きてこられたのは美神の導きを運命を感じています。

このような記念すべき展覧会の開催式典に先約・所用の為出席が叶わないことは悔しさと淋しさでいっぱいです。しかし深遠なる緑の大地あもりの空の下で私の作品をご覧いただけますことはまさに画家冥利につきる思いです。

日本画材は大半が自然から生まれたものばかりできっと私の作品もおもりの大自然と同化してくれることと信じています。ありがとうございます。

感謝を込めて

平成二十七年四月吉日 平松 礼二

子どもと一緒に

遊びませんか？

○美術館サポーター募集○

今年度より、鷹山美術館では小学生くらいを対象とした『タカビキッズ』という企画を行います。タカビキッズは、「はじめての美術館体験」をテーマとした様々なシリーズ企画です。これに伴い、活動にご協力いただけるボランティアスタッフを募集します。美術経験なんて問いません。子どもたちと一緒に、美術館で楽しみませんか？詳細は、同封の募集チラシをご覧ください。

↓説明会7月18日(土) 午後1時

タカビキッズが 始動！第1期の サポーター募集

あなたも美術館サポーターになりませんか。美術が得意とか、苦手とか、全く関係なし。子どもが好きで、子どもと一緒に楽しみ、一緒に悩んでくれる方を募集します。

- 内容** 当館が今年度より新たに実施することも造形プログラム「タカビキッズあそび」「タカビキッズつくる」鑑賞プログラム「タカビキッズPR局」などの企画の、運営補助業務全般（準備、進行補助、片付け）
- 期日** 平成28年3月31日まで（希望により更新）
- 活動までの流れ** 第1回説明会（平成27年7月18日土曜日、午後1時～）⇒メンバー登録⇒美術館から活動希望日をお伺い⇒サポーターから美術館へ返信⇒企画日当日に美術館集合、活動
- 応募資格**
 - ◎16歳以上で、楽しく活動できる方
 - ◎電話、FAX、電子メールのいずれかで、鷹山宇一記念美術館と随時連絡がとれる方
 - ◎鷹山宇一記念美術館にて集合・解散ができる方（交通費などの支給はありません）
- お申込、お問合せ** 鷹山宇一記念美術館までお電話にてご連絡ください。説明会や活動詳細のご案内をいたします。
 - でんわ ⇒ 0176-62-5858（担当/学芸 清水）

道の駅しちのへ 七戸町立鷹山宇一記念美術館
しちのへ文化村
詳細はウラ面へ！
019-2501 青森県上野七戸町菅野町67-04 でんわ 0176-62-5858 FAX 0176-62-5862 ホームページ <http://www.takayamamuseum.jp/> フェイスブック、ツイッターもあります。

○新理事長ご挨拶○



財団法人鷹山宇一記念美術振興会

理事長就任のごあいさつ

理事長 新谷 勝弘

この度、5月24日の臨時理事会において、当財団理事長に就任することとなりました。旧七戸町当時から合併後の七戸町の教育長として在職した約6年間、充て職として理事を務めさせていただきましたが、この度、理事長となり、その重責に身の引き締まる思いでおります。

美術館開設以来の先代理事長であった福士孝衛氏、青山浄晃氏の偉大な功績を引き継ぎ、厳しい時代の美術館運営を全うするには、大変な苦労があるのではないかと推測されます。

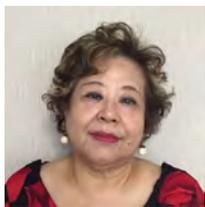
『町民に親しまれる七戸町立鷹山宇一記念美術館の運営を目指し、芸術文化の拠点として美術教育の推進を図ることにより、町民の潤いのある生活や美術活動等に寄与するとともに、観光資源としての機能を発揮する』とした、当財団の目的に少しでも近

づけるよう、そして町民の誰もが、「自分達の美術館」「美術館に、また行つてみたい」「小さな町の小さな美術館。されど内容の大きな美術館」と思える美術館になるよう、全力で尽くして参りたいと考えております。

そのために、「友の会」という支援団体の全面的な応援を願い、更に、理事・評議員の皆様方のお力をいただきながら、七戸町のために、いささかでも力を尽くすことができればと考えております。

最後に、皆様からの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

○新館長ご挨拶○



七戸町立鷹山宇一記念美術館

館長就任のごあいさつ

館長 鷹山 ひばり

―覚悟を決めたのだから―

悔いのない仕事をしてきなさい―皆様の熱い思いに支えられて六年半。県立美術館で修行をして参りました。建物というのは、著名な建築家が携ったり多額な

お金をかけてどれほど立派な物をつくっても精神が吹き込まれていなければ、それはタダの館であります。

美術館が美術館に、企業が企業に、学校が学校に、家庭が家庭になるためには、そこで息づく人間の精神性の高さが必要となります。名声や評価と云った空しいもののために跳梁跋扈（ちょうりょうばっこ）する輩がいれば、人知れぬところで黙々と努力し、己の責務を果している人間がいることも承知してきました。在職中「3・11」を始め、苦難困難の連続でしたが、常に側に居てくれたのは、私利私欲を求めない心豊かなスタッフたちでした。何一つ見えない漆黒の闇夜でなければ美しく光輝く星を発見することはできません。一步先も闇の暗黒な時に、険難の道を切り開いている若人の一光になるよう、鷹山美術館が精神の館であり続けるよう歩んで行きます。今回の就任には沢山の方々のお力添えを賜りました。ご恩を忘れることなく健康に留意し一日一日精進して参ります。

○前館長ご挨拶○

真心に触れた

尊い経験を有り難う

前館長 船山 義郎

浅学非才の私にとって無我夢中の三年余りでした。

この間、各界の先輩諸氏から示唆に富む温かなご教導を賜りました。

誠に有り難く、衷心より感謝の意を表したいと思えます。

「散りぬべき 時知りてこそ

世の中の 花も花なれ

人も人なれ」の心境

(細川ガラシャ「辞世の句」)

私が辞意を固めたのは、昨年五月でした。勤務年数が長くなるとマンネリ化し美術館の活性化の妨げになること。また、自分の能力に限界があることに目を閉じ、自己中心的な考え方で美術館を運営していくことを危惧し、潔く身を引くのも大切であると悟ったからです。

「やってみせ、言ってみせて、

させてみて、ほめてやらねば

人は動かじ。」に共感

(山本五十六の名言)

美術館にとって必要な有為な人材を育てるためには、本人の心を動かし、意欲を喚起することが大切です。

それ故、自ら率先垂範に心がけ、次のことを戒めとして心の奥底に留め、職員とともに歩んできました。

一、現実的な問題を直視し、解決の為の具体的な取り組みをすること。

二、自分の都合に合わせるのではなく、職員と同じ目線で職務を遂行すること。

常に働きやすい環境づくりと労務管理に努め、職員の健康維持と勤労意欲を高めるようにする。

三、職務上の過失があった場合、誰よりも責任を感じ悔いている職員を励まし、注意を喚起すること。

多くを語らないが、心の強い絆で支え合う掛け替えのない職員を私は心から誇りに思うし、今後の美術館のさらなる充実に尽力されることを願っています。

～任期満了の役員～

理事長	福士 孝衛
常務理事	戸館 昭吉
理事・館長	船山 義郎
理事	神 龍子
監事	立崎 義行
監事	盛田 駿造
評議員	大下内 尚
評議員	藤原 照雄
評議員	横濱 典兌

長きに渡り、多大なご尽力を賜りました。ありがとうございました。

～新理事・監事・評議員～

理事長	新谷 勝弘	評議員	石澤 いね子
常務理事	戸館 榮一	評議員	蛭名 譲治
理事・館長	鷹山 ひばり	評議員	大下内 学
理事	新渡 尊仁	評議員	加賀 誠
理事	石井 淳夫	評議員	諏訪 豊蔵
理事	葛原 隆男	評議員	竹内 勝彦
理事	高岡 和人	評議員	田中 忠則
理事	立崎 庸夫	評議員	照井 壽一
理事	附田 豊壽	評議員	奈良 松枝
理事	吉野 毅	評議員	廣田 くるみ
監事	小林 章廣	評議員	松下 美智子
監事	中村 健	評議員	盛田 吉文

○(公財)鷹山宇一記念美術振興会が新体制となりましたので、理事、監事、評議員をご紹介致します。宜しくお願い致します。

美術館 日誌

◇4月◇

1日(水)辞令交付式 10日(金)道の駅リ
ニユーアルイベント会議(船山館長)
14日(火)〜17日(金)企画展示替 15日
(水)伊藤三子氏へ作品返却(清水学芸員)
18日(土)平松礼二展オープニングセレモ
ニー 19日(日)平松礼二展開催初日 21日(火)
デーリー東北新聞社訪問(船山館長) 21日
(金)十和田市出張(清水学芸員) 27日(月)
七戸町商工会会議(船山館長) 28日(火)
七戸町観光協会会議(船山館長) 29日(水)
道の駅リニユーアルイベント(船山館長)

◇5月◇

2日(土)お呈茶 3日(日)・5日(火)・6
日(水)ギャラリートーク 13日(水)企画
展協賛・後援依頼伺(船山館長、清水学芸員)
17日(日)商工会婦人部つじまつりツアー
準備(2階) 22日(金)後援願伺(清水
学芸員) 24日(日)七彩会 27日(水)生涯
学習課打合(船山館長、成田事務員) 29日
(金)中部上北教育委員会相談室見学 3名

◇6月◇

1日(月)鷹山ひばり新館長辞令交付式
3日(水)七戸町立榎林中学校1学年見学
9日(火)七戸町立天間東小学校3学年見
学 13日(土)友の会総会、山崎栄作氏講
演会 14日(日)八戸市美術館を熱望する会
様が新館長を表敬訪問 17日(水)県信用な
でしこの会ご来館 21日(日)七彩会、穂積
教育普及員辞令交付式 22日(月)館内打合
22日(水)八戸市出張(鷹山館長、清水学芸員)
27日(土)・28日(日)ギャラリートーク
30日(火)平松礼二展終了

新・教育普及員、現る!

6月20日(土)より、新しい教育普及員
が美術館に仲間入り!三沢出身、秋田美大
經由、三沢育ち、穂積亜紀(ほづみあき)
さんです。ニックネームは「ほづちゃん」。
なんでも、おばあちゃんが七戸の方だそう
で、七戸にかなり縁がありそうです。それ
では、学芸員清水がお話をうかがってみま
す!

清水 はじめまして、こんにちは。早速で
すが、この美術館にたどり着くまでの人生
の道のりを教えてください。

穂積 いきなり始まるんですね笑。私は秋
田の美術短大でデザインを学んだのち、青
森県内の看板屋さんでデザイナーの仕事
をしていました。道で目立つ看板や、施設の
キャラクターシールまで、様々デザインし
ていました。ひたすら、パソコンとにらめっ
この日々でしたね笑。

清水 デザイナーさんでしたか!仕事する
上で何か意識していたことはありますか?
穂積 美しいもの、センスのいいものを心
がけるのは当たり前ですが、やはり私は、
ご依頼くださる企業様がどんな業種なのか
ということだけでなく、どのような雰囲気
の企業なのかを知って、デザインに反映さ
せたいと思っていました。

清水 なるほど。広告のデザインはそれだ
けで企業や企画の印象を左右してしまうの
で、重要ですよ。ところで、ほづちゃん
はどんな食べ物が好きですか?

穂積 またまたいきなりですね笑。私は
チョコとコーヒーが大好きです。特にチョコ
は、常に食べていたいと思います。ちよ
ちよっと糖分を控える為にも我慢していま
す。(とっても悲しそうな表情)

清水 そうなんですか。

穂積 はい。特に森永からでているカレ・ド
シヨコラが大好きで、これはおしゃれな航
空会社の機内でも提供されたりしてるん
ですよ!私はとくに「ミルク」が好きなん
ですが、やはりあの芳醇な香りと優しい甘さ
が口いっぱい広がって、最後に鼻から抜
けるあのなんとも言えない……(以下省略)

：ということ、本当は真面目な意気込
みとかも聞いたのですが、チョコ談義のせ
いで書けなくなつたので省略。とつてもま
じめで、とっても愛されキャラ(だと清水
は思った)のほづちゃん。ワークシヨップ
や受付で見かけたら、気軽にチョコを与え
てあげてくださいね!



ほづちゃんとお気に入りのチョコ

平成27年度第1回研修旅行「ゴーギャンとポン・タヴァンの画家たち展」・岩手県立美術館・御所湖川村美術館（6月14日・日帰り・23名参加）の紀行文をお寄せいただいたの紹介いたします。

コンパニオン

七戸町 山本貴子



御所湖川村美術館前にて

あこがれの鷹山宇一記念美術館友の会の研修旅行に初めて参加させていただきました。薄曇りの空の元、一行はバスで東北自動車道を一路盛岡へ。

まず始めに御所湖の畔にある川村美術館を訪れました。森の中にあつて、森林浴ができてうな素敵な所です。東欧の現代絵画がたくさん収蔵されている、日本でも珍しい美術館だそうです。現在はポスターでは世界的に有名なポーランドのスタニス・エイドリグヴィチウスの作品を見ることが出来ます。どの作品にも登場するピエ玉のような特徴的な眼にひきよせられます。何か悲しげに見えました。美術館併設のカフェでおいしい朝食をいただき、ゆったりとした時間を過ごすことができました。次の目的地は岩手県立美術館。「ゴーギャンとポン・タヴァンの画家たち」というタイトルの展覧会が開催されています。ゴーギャンといえば「タヒチの女」などのインパクトの強い絵が有名ですが、今回はタヒチに行く前の作品なので、考えていたものとは少し違っていました。強調された輪郭線と単純化された色面によって構成された作品はこの時代に生み出されたそうです。「二人の子供」のちよつとおこつたような表情、ブルターニュの美しい自然や風土が特に印象的でした。美術館の外では子供たちが遊び、犬のお散歩している人もいて、のどかな休日の公園そのものです。いい作品を鑑賞できたこと、そして皆様に会えたことはちよつぱりわたしの心を豊かにしてくれたに違いありません。楽しい一日をありがとうございました。

楽しい一日だった！

つがる市柏 荒谷みわ



岩手県立美術館エントランスホールにて

6月14日（日）早朝に自宅を出発して鷹山宇一記念美術館前に集合し、午前7時30分発の貸切バスで岩手県立美術館で開催される「ゴーギャンとポン・タヴァンの画家たち展」に出かけました。参加者23名が東北自動車道を一路岩手県へ。一つ目の見学場所は、御所湖のほとりにたたずむ御所湖川村美術館。ここは私設美術館ですが、周りの湖や森等自然の風景が一緒になっており、アートの世界の展示室での鑑賞が出来ると素敵な美術館です。ここでお昼もすませ、お目当ての岩手県立美術館へ。美術館では玄関を入ってすぐの

☆ 皆様の会報です。研修旅行等へのご意見、ご要望、美術館訪問記、旅行記等をお寄せ下さい。（字数：800字程度）☆お便りをお待ちしています。

★会費についてのお知らせ
会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員となった方は、翌々年の3月31日までを1年度といたします。

エントランスホールが迎えてくれ、階段に並び記念写真です。ポール・ゴーギャンの作品は油彩・水彩・鉛筆・エッチング・木炭など多彩な展示ですが、「巡礼の瓶」という陶器も印象的でした。また、シャルル・フリリジエのグワッシュで厚紙に金で縁取りした紙に描いた作品は珍しいと思いましたが、本展は、風景画や自画像を含めた人物画が多く、カンペール美術館蔵の作品が中心でしたが、福井県立美術館所蔵の「かぐわしき大地」と「水辺の女たち」2点の木版画も特別出品していました。会期は7月12日まで。日本初展示の作品もある「ゴーギャンとポン・タヴァンの画家たち展」を鑑賞に出かけてはいかがでしょうか。午後から雨の予報にもかかわらず、曇り空のちよつど良い気温で過ごしやすかったです。これも参加会員の皆様の日頃の行いの賜ではないでしょうか。楽しい一日をありがとうございました。

